沖縄県公安委員会定例会会議録（令和７年４月10日）

１　主な報告等

⑴　沖縄県警察学校入校式の挙行について

委員から、入校してから短い期間にも関わらず完成度が高い式典を拝見し、感動すら覚えた。受験年齢の引き上げなどにより、県内外から多様な人材が集まったことは、入校生にとっては互いに触発されて良い刺激になるほか、組織にとっても健全化につながるなど非常に良いことだ。これからの学校生活において、警察官として守るべき規律や寮生活のルールなどを習うことになると思うが、「神は細部に宿る」という言葉のように、小さいことを積み重ねていくことの大切さを指導していただきたい旨の発言があった。

⑵　サイバー部門の中核となるサイバー人材の育成について

委員から、サイバー犯罪が増える中で、スペシャリストの養成は急務だ。科学技術は日進月歩の勢いで進化し、年々水準が上がっている。また、被疑者も、能力が高くなっているほか、低年齢化しているように感じる。県警も、職員全体のレベルアップが必要だ。それに加え、特定の職員には常にトップ水準を維持していく体制を構築していただきたい旨の発言があった。

⑶　令和７年度「刑事特別研修」及び「国際捜査研修」の実施について

委員から、元警察大学校教官の著書を読み、刑事の仕事は約７割が書類作成だと記されていて、驚いたことがある。今回、刑事研修では幅広い知識の習得に努めて、いわゆる刑事の勘を養ったり、ベテランからの知識の伝承や継承を受け、国際捜査研修では英語の通訳ができるレベルまで育成すると聞き、素晴らしい取組だと感じた。どこの組織でも、専門分野の人材育成とその後の人事配置が課題となっている。学んだことを、将来に渡って遺憾なく発揮して、組織で活躍していただきたい旨の発言があった。

⑷　その他

警察本部から、今年、98人の新たな職員が加わった。入校式では、早速きびきびした行動をとっていたが、彼ら彼女らが20年、30年先の次代の県警を担っていく職員になることから、良い経験を数多く積ませ、県民にとって頼もしい存在になれるよう育成していきたい旨の発言があった。

２　主な決裁等

⑴　警務部

- 公安委員会宛て苦情の受理について
- 警察宛て苦情の受理報告及び処理状況について
- 遺族給付金支給裁定に伴う公安委員会の裁定について
- 令和７年第１回沖縄県議会（２月定例会）の報告について
- 監察関係報告

・　令和７年度監察実施計画について
・　審査請求の諮問について

⑵　生活安全部

・　風俗営業者に対する営業停止命令書の交付について

⑶　交通部

・　自動車運転免許の行政処分について